

2023年
4月発行
第140号

わかやま・こどもクリニック

キャロット 通信






日曜診療 **夜間診療** **休日診療**

予防接種・健診専用待合診察室 **24時間ネット予約**

大分市明野北1-7-10
 受付代表 **097-556-1556**
 発信専用 **090-2968-1556**
090-1433-1556
 折り返しのお電話は受付代表へお願いします

ホームページ
 「みんなの広場」にて
 ご来院いただいた
 かわいい笑顔
 をぜひご覧ください。



わかうさ日記
 当院での出来事や
 ワクチン情報も
 掲載します！



LINE 公式アカウント
 臨時診療のお知らせ、
 ワクチン不足や入荷など
 気になる情報をお届けします。
 ご登録の方へプレゼント！！



春の陽気と共に、新年度がスタートしました。この春から初めて集団生活を送るお子さまや、新しい生活をスタートするお子さまも多いことと思います。環境の変化や季節の変わり目で体調を崩しやすくなりますので、体調管理に気を付けて過ごしましょう。また、5月のゴールデンウィーク明けには、3年以上悩まされてた新型コロナウイルス感染症の対応も変わります。受診の方法も変わり、皆さまの生活にも変化が訪れるのではないのでしょうか。

ゴールデンウィークは5月3日(水)～6日(土)まで休診
 早めに受診しお薬が切れないようにしましょう。

5月8日からコロナが5類感染症に

11歳以下の
コロナワクチン接種
実施中!

LINE登録者
UVローション、保湿剤サンプル
プレゼント!

子宮頸がんワクチン
が新しくなります

ワクチン接種について

4月からの一部ワクチン接種のスケジュールの変更と新しいワクチンが加わりました!

四種混合ワクチンの接種スケジュール変更

2023年4月より四種混合(DPT-IPV)ワクチンの1回目は、生後2か月から接種できるようになりました。ワクチンデビューは、B型肝炎、ロタウイルス、ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合の5つのワクチンを同時接種で受けることをお勧めします。

HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)に9価(シルガード)が加わりました。

子宮頸がんワクチンは、2価(サーバリックス)、4価(ガーダシル)、9価(シルガード)の3種類になります。当院では、基本的に同じワクチンで3回目までの接種をします。当院では特別な希望がない方は、9価シルガードワクチンで、接種を開始します。

子宮頸がんワクチン、キャッチアップ接種実施中!

公費(無料)接種対象年齢

定期接種 小学校6年生～高校1年相当の女性

キャッチアップ対象者※

平成9(1997)年4月2日～

平成18(2006)年4月1日までの間に生まれた女性

※キャッチアップ(無料)対象者とは、下記3つの要件を満たす方が対象です。

- 1 平成9(1997)年4月2日～平成18(2006)年4月1日までの間に生まれた女性
- 2 過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない方
- 3 接種時に大分市に住民登録があること

子宮頸がんワクチン
パンフレット(詳細版)▶

<https://onl.sc/DJEYZMp>



詳細はこちら▶

<https://onl.sc/Dt6XEBA>



接種の対象に該当する方は、令和4(2022)年4月～令和7(2025)年3月の3年間、HPVワクチンを公費で接種できます。子宮頸がんワクチンは、自費で接種すると高額になります。公費で接種できる期間に、接種しておきましょう。

マスクの着用について

マスクの着用については、個人の判断によるものとなりましたが、当院は医療機関ですので、しばらくは「症状のある方は必ず着用」をお願いし、症状のない方もマスクの着用のご協力をお願いします。スタッフも引きつづきマスクを着用して対応いたします。

ワクチン接種で感染症の予防を

なぜ赤ちゃんにもワクチン接種が必要なの?

赤ちゃんはお腹の中にいるときお母さんからもらった免疫によってしばらくは細菌やウイルスによる感染から守られています。しかし、免疫は生後しばらくするとだんだん下がり始め、いろいろな感染症にかかりやすくなります。赤ちゃんが感染症にかかってしまうと重症になり命にかかわることもあるため免疫が下がる前に感染症を予防するワクチンを接種する必要があります。[予防接種せずに自然に感染症にかかる方が免疫が付くのでは?という意見をきくことがあります]が、感染症にかかると、悪化して脳炎や肺炎を引き起こし重症になる危険性があります。今回、新型コロナウイルス感染症の流行で、感染症の流行の恐ろしさや生活が大きく変わってしまう体験を、皆さまは身をもって実感されていると思います。お子さまが感染症に感染すると、重症化し命の危険にさらされる可能性や、つらい思いをすることになりますし、また周りの人に感染症を広げてしまう可能性を考えると、ワクチンで予防できる感染症はワクチン接種により予防することがとても重要です。

下記のホームページから予防接種スケジュール表がご覧になれます。



ホームページ
<https://www.know-vpd.jp>



予防接種の表
<https://onl.sc/xTFhDrm>





新型コロナウイルス感染症の取り扱いが変わります!!

新型コロナウイルス感染症は5月8日から「5類感染症」に変更になり、法律上の分類の変更により、様々な対応が変わります。



Q1 新型コロナの分類が「5類」になると何がかわるの？

A. 法律に基づいて政府や都道府県などが取る措置が変わります。感染者への入院勧告や、感染者や濃厚接触者の外出制限、屋内で着用を推奨されてきたマスクの着用、感染者の把握、感染者を診療する医療機関への補助といった医療的な措置が変わります。緊急事態宣言などは無くなり、飲食店に対する営業時間短縮などの要請も無くなります。水際対策も原則的に無くなります。また、将来的には、医療費やワクチン接種が全額公費負担から、一部自己負担に変わっていく見通しです。詳しくはQ2以下を参照して下さい。これから5月までの期間に、新型コロナウイルスの性質や流行状況などが大きく変化した場合、移行時期が見直される可能性はあります。

Q2 そもそも感染症法の類型とは？

A. 感染症を予防し、流行を抑えるために、ウイルスや細菌といった病原体を、感染の広がりやすさや症状の重症度など危険度に応じて5段階に分類したものです。1～5類まであり、1類はもっとも危険度が高く、類型に応じて法律で可能な措置が変わります。

Q3 これまで新型コロナはどのような類型だったの？

A. 発生当初は、感染症法上の2類相当と分類されていましたが、2021年2月、「新型インフルエンザ等感染症」という新たな分類になりました。

Q4 マスク着用はどう変わるの？

A. 3月13日以降は原則として「個人の判断にゆだねる」とこととなりました。ただし、医療機関への受診や高齢者施設への訪問時など、感染防止対策にマスクが効果的な場面もあってあります。また、飲食店や交通機関などの事業者が、感染対策や事業上の理由などによって、「利用者または従業員にマスクの着用を求めることは許容される」としてあります。

Q5 感染の疑いがある場合の検査や診療は？

A. 政府は、医療体制については5類移行後に一気に変えるのではなく、段階的に移行させるとしてあります。将来的には、季節性インフルエンザなど他の5類感染症と同じように、指定を受けた医療機関だけではなく、どの医療機関でも診療できるようになります。ただし、診療するかどうかは各医療機関の判断にゆだねられているので、実際にすべての医療機関が新型コロナウイルス感染症を診療するかどうかはわかりません。

Q6 感染者や濃厚接触者の外出自粛はどうなる？

A. これまで原則として感染者は7日間、濃厚接触者は5日間、外出の自粛が求められていました。5類に移行すれば、外出の自粛要請も変わりますが、他の感染症の場合と同様、発熱しているなど症状のある場合には、重症化や後遺症を防ぎ、周りの人に感染を広げないように、療養することが望ましいと考えられます。

当院の診察スタイルについて

安全に実施するため、ご理解ご協力をお願い致します。

当院は、院長ひとりで診察行っており、特に冬場などの診察やインフルエンザの予防接種時期には、1日に300名近くの方が来院されることもあります。診察時の頻回な前かがみの姿勢は、腰への負担が大きく、10数年前に腰痛が悪化して以来、腰にコルセットを付け診察を行っています。前かがみの姿勢が難しいため、診察の際は、ご理解ご協力いただければ幸いです。



詳しくは、「わかうさ日記」をご覧ください。
<https://wakayama-kodomo.blogspot.com/2019/12/blog-post.html>

- 院長は、前かがみの姿勢が難しいため診察イスの高さは高めに設定しています。
- 看護師が補助をして、お子さまを可能な限り、院長に近づけるようにしています。
- 小さいお子さまの診察は、保護者のひざの上で行います。その際、上半身は看護師が支えますので、保護者の方は、お子さまのひざを支えてください。
- 処置や検査、予防接種を行う場合お子さまが、不意に動くと大変危険なため、複数のスタッフでしっかりと固定します。

新型コロナウイルス感染症

皆さまに安心して来院していただけるよう感染防止対策を行っています

<p>院外にて受付</p>	<p>院内に入られる皆さまに</p>	<p>問診により、各々に応じて待合室を分け、院内で感染の恐れのある方と接触がないよう徹底</p>	<p>感染症状のある方とスタッフの接触も最小限に</p>
<p>「3つの密」(密閉・密集・密接)を避ける。</p>	<p>院内の消毒</p>	<p>感染拡大を引き起こす可能性のある処置時はスタッフは、しっかり防護具を装着</p>	<p>スタッフのマスク着用 フェースシールド着用 体調管理</p>

今後のスケジュール

- 4月5日(水) 午後休診
- 4月19日(水) 午後休診
- 5月3日(水)～6日(土) 祝日のため休診
- 5月14日(日) **小児科休日当番** 17時まで診療

診療時間

- 水曜日の午後は、不定期で休診する場合があります。
 - 月、火、木曜日は19時まで診療中です。
- HPのスケジュールを確認の上、ご予約されて来院ください。